

(解答例)

1

問1

ア 更新世, イ 土師器, ウ 竪穴住居, エ 高床倉庫, オ 掘立柱住居

問2

食物を盛る

問3

硬質で灰色をしている (10 字)

「窯で焼いた硬質な土器」等でも可

問4

気候の温暖化で食料資源が多様化し, その獲得方法や加工技術が進展したから (35 字)

(解答例)

2

問1 異国警固番役

問2 地頭御家人以外の公家や寺社が一円的に支配する荘園の住人 (27 字)

地頭御家人のいない幕府の支配が及ばない荘園の非御家人など (28 字)

問3 北条時宗

問4 畠山政長, 畠山義就

問5 加賀の一向一揆が守護富樫政親を倒したように, 下の者が上の者をしのぎ, とってかわり実権をにぎること (48 字)

下線部代替の事例としては, 管領細川政元が将軍足利義材を廃したこと, 北条早雲 (伊勢宗瑞) が堀越公方を滅ぼし伊豆を奪ったこと, 周防の守護代陶晴賢が守護大内義隆を殺害したこと, 越後の守護代長尾為景が守護上杉房能を敗死させたこと, 三好長慶が管領細川晴元を追放したこと, など

問6 藤原頼通

問7 田地一段 (一反) ごとに課された臨時の税 (15 字)

問8 明

問9 段銭を納める際に 100 文に永楽通宝・宣徳通宝を 20 文分入れること (29 字)

永楽通宝・宣徳通宝の混入率 20 パーセントで段銭を納めること (28 字)

3 (解答例)

近世の社会は基本的に男性中心の社会であった。武家や公家による政務は男性が独占し、幕府と朝廷の関係を安定させるために後水尾天皇に入内した和子（東福門院）のように、女性は、家同士を結びつける役割に限って政治的に利用されることが多かった。支配階層だけでなく、町人や百姓の家でも男性の家長の力が強かった。男性の家長だけが村や町の役職に就く一方で、女性には家督相続ができないなど、その権利が大きく制限されていた。ただし農村では、一般的に機織りは女性の重要な労働であり、農家の経営は男女がともに支えていた。マニュファクチュアでも機織り業は女性労働者に担われた。女性も手習いをし、貝原益軒の『女大学』など、女性向け道徳書が普及した。浮世絵の美人画が流行するなど、女性は鑑賞の対象とされる一方で、著名になる個人もあらわれた。幕末の社会不安に対して強い自我を元に、民衆宗教を創り出した中山みきのような女性も登場した。(399字)

4 解答例

問1 ア 職業婦人 イ 映画 ウ 国民所得倍増 エ 耐久消費財

問2 ヨーロッパ列強が後退したアジア市場への綿織物の輸出、好景気となったアメリカへの生糸輸出等により輸出が大幅に増加したから (59字)

問3 会社員・銀行員・公務員などの俸給生活者 (19字)

問4 アメリカ軍の日本駐留の継続が認められ、アメリカの日本防衛義務が明記された。(36字)

問5 地方農村では農業人口の減少と兼業農家の増加が生じ、都市への人口流出により住民が減り過疎化が進んだ。(49字)